

事務事業名	介護認定審査会事務	事務事業No.	10702000042	所属課	介護保険課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 介護保険法の施行（平成12年4月）により、介護認定審査会を設置した。 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的取扱いにより、更新者に限り有効期間の延長措置が可能(原則、認定有効期間:令和5年3月までの方が対象だが、認定有効期間:令和6年3月までの方を対象とした延長措置が可能)。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 審査会の簡素化対象者についても資料を添付してほしいと審査会から要望があり、現在まで実施している。また、審査会意見によりコロナウイルス等感染症対策のため、webによる遠隔審査を実施している。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 介護保険法の定めるところにより、適正かつ迅速な要介護認定を行うことは、高齢者が適正なサービスを受け自立すること・社会参加の支援に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 介護保険法の定めるところにより、市に介護認定審査会を設置することが義務付けられており妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 介護保険法の定めるところにより、審査件数に応じた介護認定審査会を開催しており、審査会の開催回数の不足による遅延は生じていない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法定事項であり、休止・廃止はできない。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 委員の報酬のみで削減余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 法定事項であり、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和4年度の1回の審査件数は平均30件である。 コロナウイルス蔓延対策として、審査会委員にタブレットを貸与し、資料の提供を電子化、蔓延期には審査会を遠隔開催した。 臨時的取扱の終了に伴い、令和5年度は一次的に申請者/審査件数が増加する見込み。																																					
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																							
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>目的の再設定</td><td><input type="checkbox"/></td><td>効率性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/></td><td>公平性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>統廃合ができる</td><td><input type="checkbox"/></td><td>連携ができる</td></tr> </table>		<input type="checkbox"/>	目的の再設定	<input type="checkbox"/>	効率性の改善	<input type="checkbox"/>	有効性の改善	<input type="checkbox"/>	公平性の改善	<input type="checkbox"/>	統廃合ができる	<input type="checkbox"/>	連携ができる	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td colspan="2"></td><td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td style="text-align: center;">削減</td><td style="text-align: center;">維持</td><td style="text-align: center;">増加</td></tr> <tr><td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td><td style="text-align: center;">向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">維持</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="text-align: center;">低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
<input type="checkbox"/>	目的の再設定	<input type="checkbox"/>	効率性の改善																																				
<input type="checkbox"/>	有効性の改善	<input type="checkbox"/>	公平性の改善																																				
<input type="checkbox"/>	統廃合ができる	<input type="checkbox"/>	連携ができる																																				
		コスト																																					
		削減	維持	増加																																			
成果	向上																																						
	維持		○																																				
	低下																																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																																					
①コロナウイルス蔓延対策 ⇒対面による審査/遠隔審査の機動的な切り替えを実施する。 ②臨時的取扱(認定有効期間の延長措置)の終了に伴う更新申請者増加への対応 ⇒取扱可能期間の延長、対象者の限定(最大延長期間の限定等)により繁忙期を分散し、審査事務の遅延を防ぐ。		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>